

『ムッシュかまやつ氏とその仲間たち』

文 葛西得男

text by Tokuo Kasai

「保育」の原点

1 960年、六本木の近く飯倉片町通りに「キャンテイ」という小さなイタリア料理店がオープンしました。オーナーは伝説の人「川添夫婦」です。奥様のあだ名は「トントン」。

彼女を慕ってムッシュかまやつ氏、女優の大原麗子氏、福澤幸雄氏（福澤諭吉のひ孫でレーサー）、女優の加賀まりこ氏、作家の三島由紀夫氏、音楽家の黛敏郎氏など、様々な人々が夜な夜な集まっていた。食事をしてきた小さなお店、それが「キャンテイ」でした。当時、誰もが無名に近かったのですが、熱く切磋琢磨しながら各々の世界で昭和を代表するような人物になっていきました。残念ながら、この時代の話は友人のムッシュとフランス人デザイナーのイザベル・エベ氏から聞いた話であり、私は参加してはいないのです。この中で中心的な役割を果たしたのがムッシュかまやつ氏でした。彼は年上の人であれ年下の人であれ、あらゆる人とコミュニケーションをとることが上手でした。話術に長けていた訳でも要領が良かった訳でもなく、まさに彼のコミュニケーション能力は優しさ、人間性

そのものでみんなの心を掴んでいたのでしょう…。

彼は誰にでも愛されるキャラクター、彼を悪く言う人はいないのです。そして、時代を先取りする力にも特筆すべきものを持っていました。

当時日本ではまだ誰もやったことのない自分たちで曲を創り、演奏し、歌うというグループサウンズの先駆け「ザ・スパイダース」の結成メンバーで作詞、作曲、演奏とまさに才能を開花させていました。

彼の言葉は言葉ではない「音楽」、「ギター」だったので。言葉ではなく限りなく優しさと言得力のある「ギター音楽」で語りかけたのでしよう。目に浮かぶようです。

私とムッシュとの出会いは1982年頃の事でした。ムッシュは楽しみに食事をしながら「キャンテイ」オープン当時の話を感慨深げに話してくれました。昨日の事のようにです。

黛敏郎氏のファッショセンスが素晴らしいとか、とにかく日本のヨーロッパ文化、ファッションは「キャンテイ」

から始まったと言っても良い程、情報が集り、人も集まっていたと話してくれました。

そして自分が今着ているジャケットがイギリスの古着だとか、ボタンが1930年頃のボタンだとか、ヨーロッパのファッションや文化のすべては「キャンテイ」で教わったことだと話してくれました。

川添氏がサンローランとの交渉を依頼され、1970年にヨーロッパのサンローラン・リヴ・ゴージュの店舗が青山に開店しました。デザイナーの名前を使うというそれまで日本には無かった個人名を名乗るといって斬新なブティックだったので。今では当たり前前の事ですが。

そのブティックのデザインを担当したのが、私の友人でフランス人デザイナーのイザベル・エベ氏で彼女は当時フランスのジュエツト機コンコルドの内デザインを担当した事で有名でした。当時、アップリカ経営陣の一員であった私は彼女と共同で「コンコルミニ」というベビーカーを作りました。



「コンコルミニ」は世界的大ヒット製品となり、アップリカの礎ともなりました。このベビーカーのコマースャルソングをムッシュが担当して彼自身も出演してくれました。

そのイザベル・エベ氏、川添氏とも友人であった若き日のイヴ・サンローラン氏も頻繁に「キャンテイ」を訪れては文化の異空間を共に創っていたそうです。

とにかく、ムッシュが中心となり文化の社交場となった小さなお店「キャンテイ」は、昭和におけるヨーロッパの文化とファッションを発信する場所になっていったと言っても過言ではないのです。因みに伊丹十三氏のご尊顔を拝したのも「キャンテイ」でした。小粒でも存在感のあった「キャンテイ」。文化の発信地となった「キャンテイ」。

ジャンルは違えどマザーシップ保育園も小粒でも存在感のある文化を発信できるような「保育園」に出来れば良いなと思っています。

Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。1972年、追手門学院大学卒業後、米国ボストンカレッジに留学。1975年に帰国後、アップリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人 松福会 理事長に就任。松福会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アップリケア」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。アップリカ葛西 副社長時代に国連UNEP環境計画のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。



子どもたちに心を、お年寄りに環境を



マザーシップが大切にすること

マザーシップでは、保育園がお子さんの成長にとって最もふさわしい生活の場であるよう、3つのことを大切にします。

1.大切にします

質の高い保育環境の整備とあたたかいかわり

2.大切にします

保育のパートナーとしての保護者の皆さんとの協働

3.大切にします

地域社会のさまざまな人々との出会いや社会資源の活用



松福会は、子どもたちとお年寄りにやさしい社会をつくるため、高齢者介護施設アップリケアとマザーシップ保育園を運営しています。

社会福祉法人 松福会

〒558-0021 大阪市住吉区浅香1丁目8番38号
TEL: 06-6696-1177 (代)
FAX: 06-6696-1273
E-MAIL: info@apricare.com http://www.apricare.com

マザーシップ船場保育園

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町2-1-9 船場メディカルビル2F
TEL: 06-4964-0717
FAX: 06-4964-0710

- マザーシップ船場東保育園 ●マザーシップ新梅田保育園
- マザーシップ西宮北口保育園 ●マザーシップ保育園森の家